



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔人間学と人間科学に基づく人間教育の 新しい手法〕
～(社福)童心会の実践に活かす「願い・祈り・念(おもい)～」

私は今日まで“願掛けとか神だのみの祈り”とかいわれる行為は、
何か霊的な(スピリチュアル) 特別な人たちだけが行う作法であると思っていました。
それが今日まで私たちの人間教育とは無縁と思われていた
古典物理学(原子「陽子」や「中性子」より大きな世界の法則)よりミクロの世界に流れる不思議な法則、
原子よりももっと小さい物質の最小単位の量子(素粒子)その量子力学といわれる学問の領域を研究している
「村松大輔」という人が「願いや祈りは科学的にかなえられる」と量子力学的生き方のすすめを提唱してきたのです。
彼は著書「自分発振で願いをかなえる方法(村松大輔・サンマーク出版)」の中で
次のように書いていました。

「前にベストセラーになった『鏡の法則(野口嘉則著・総合法令出版)』では
『相手は自分の心のあり方を写した鏡』などと説明されていましたが、
これを量子力学で言い換えれば『自分発振』の仕方によって相手の行動が変わるし、
相手の行動は「自分発振」の結果である、ということです。
自分発振とは『意識や感情の波を飛ばすこと』です。
自分がどんな波を飛ばすかによって、その波を受け取った相手の行動も決まってきます。
「意識」も「感情」も目に見えませんが、じつは量子力学の世界ではちゃんとした
「実体」として確認することができます。
ではなんでできているかというと、「フォトン(光子)」という素粒子でできています。
このフォトンに意識や感情という情報を乗せて「波」となって飛ばしています。
たとえば、「できる!」と思っていると
「できる!」という情報を乗せたフォトンが波として飛んでいきます。



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番

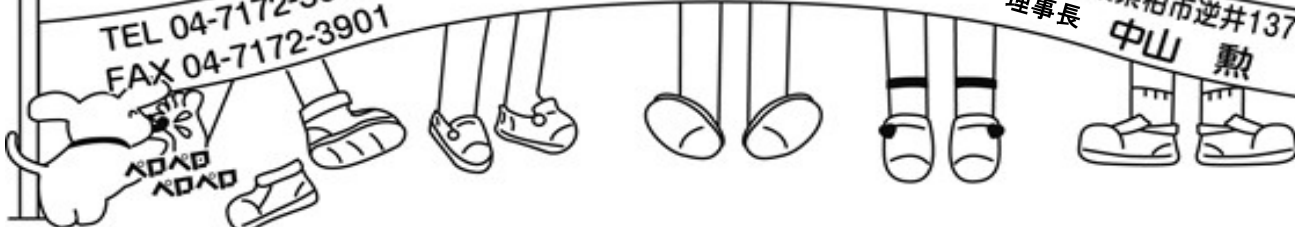


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



すると、その波に反応する人たちが現れます。
どんな人が反応するかというと、同じように「できる！」という波を発振している人です。
この、同じ波を発振している人同志が反応し合うことを「共振」と呼びます。」

私たち(社福)童心会の保育園は1つのVillage(村)だと考えてきました。
だからそこに住む人たち、子どもたちや保護者、子育て仲間たちや保育者仲間たちは
未成熟な”未来人”であるから「未在人たち」であるかもしれません。
「未だ在るに能(あた)わず」(未だに自分の存在を認識するに至っていない者たちが、
心を寄せ合って、援けあって、学びあうお家)になってほしいと私は心から強く願ってきました。
だから私たち童心会の村人たちは、いろいろな機会を通して
自分という人間性を高め続けていかなければなりません。

「”遊び、暮らし、学び”を通して”心、体、脳”に五感の刺激を与え、
”願い、祈り、念(おも)い”を念じながら、Well-being 幸せになろうね！幸せになろうよ！」を求め続け、
いつも一途に願い、祈り続けなければいけないのです。

だから私たち(社福)童心会の保育園は自願(自分のために願うところ)、
他祈(他人のために祈るところ)衆念(世のために念ずるところ)になりたいと願っているのです。
そして私は量子力学的実践術を学び「人間教育の新しい手法」を次のように考えました。

自 願 : 自分のためにWell-being(幸せ)を願い
他 祈 : 他人のためにWell-being(幸せ)を祈り
衆 念 : 世の幸せのために念ずるところ

願 : 願いは 叶う
祈 : 祈りは 届く
念 : 念いは 成る

最後に量子力学的生き方のすすめを書いた著者の村松大輔氏は次のように言っていました。
「そもそも、あなたは素晴らしい」赤ちゃんは母乳しか飲んでいないのに体が創られ育っていくというのは、
もう大いなる存在(宇宙)があなたを生かそうとしているからとしか思えません。
生きているということ自体が素晴らしいこと。誰にでも絶対に価値があります。」

私たちは長い長い間、教育とは「言語・言葉」を通して正解を教え育てることであると教えられてきました。
それが量子力学的な実践を通してphoton(フォトン)”意識や感情の波を飛ばす”ことによって
「願いはかなう、祈りはとどく、念いは成る」というのです。
ひとのサポートを受けて共振することによって、つまりedu-care(療育)の世界の中で仲間たちと共に
「自分を創り、育ち直し、育て直しができる」と実践活動の中で実証しているのです。

皆さんは私たち(社福)童心会の魔法の言葉を覚えていますか？
この言葉がこれからの時代のキーワードになるかもしれません！？

大丈夫！ あなたなら できる！！
大丈夫！ ぼくなら できる！！
大丈夫！ わたしなら できる！！

「この世のすべての人たちが幸せになりますように！」という願い、祈り、念を一途に念じております。
どうぞ皆さまがずっとずっとお幸せでありますように！！

令和6年 6月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲